

<自然環境に配慮した造成についての再度の提案と要望>

大柏川第2調節池連絡会

2023年12月27日

(1)工事区域内で地下水が自噴する場所を調べ、埋めないよう保全して頂きたいと思います。

自噴泉を活用してH22年度県環境調査報告書にあるように緩傾斜の浅い池(最深部50cm程)を作り、タコノアシなど稀少植物の植生復元やアカガエルの産卵、トンボなど水生昆虫の生息などを図るように配慮してください。('23/5要望書①、②)

(2)今後の生物多様性の推移を検討するうえで、従来の植生が取り除かれた掘削直後の状況を記録することは重要なので、生態系調査を実施していただきたくお願いします。

(3)11月の現地見学ではハンノキ林周辺は見ていないので、来年、再度、見学をお願いしたいです。

<その他>

- ・以前にもお聞きしていると思いますが、2024年度の事業計画と2027年3月上池完成までのタイムテーブル。
- ・下池(新橋より下流)の計画と上下二つ合わせた貯水容量(特に流域総合計画との関係)

以上